



1993~1994

三重野ガバナー公式訪問報告書

1993.10.20

: Believe in what you do-Do what you believe in :
「行動に信念を、信念は行動に」

会長 岩 男 秀 彦
幹事 佐 伯 壽 郎

鹿児島西ロータリークラブ

目 次

三重野良輔ガバナー公式訪問日程	1
クラブ協議会プログラム	2
委員会構成	3
ガバナー挨拶	4
R. I. 第 2730 地区委員会組織図	7
地区委員会組織図及び委員名	8
会長報告	10
幹事報告	11
クラブ概況	12
例会活動実績報告	14
西ロータリークラブの推移	16
会計報告	18
クラブ奉仕委員会報告	18
会員増強委員会報告	18
会員選考委員会報告	19
職業分類委員会報告	19
出席委員会報告	20
親睦委員会報告	20
ロータリー情報委員会報告	21
会報・雑誌委員会報告	21
プログラム委員会報告	22
広報委員会報告	22
S・A・A 報告	23
職業奉仕委員会報告	23
社会奉仕委員会報告	24
ローターアクト委員会報告	24
青少年奉仕委員会報告	25
インターアクト委員会報告	25
国際奉仕委員会報告	26
ロータリー財団・米山奨学委員会報告	26

(別 冊)

1993～94 年度 クラブアッセンブリー

三重野良輔ガバナー公式訪問日程

10月20日(水)

- | | |
|-------------|------------------------------------|
| 11:00～12:00 | 会長，幹事，会長エレクトとの協議会
(山形屋7Fフェニックス) |
| 12:30～13:30 | 例会(公式訪問) (山形屋7F社交室)
例会終了後記念撮影 |
| 14:00～16:00 | クラブ協議会 (山形屋7F社交室) |

クラブ協議会プログラム

1993. 10. 20 於 山形屋

点 鐘
 開 会 の 辞
 ロータリーソン 及び
 欲迎の辞 紹介
 ガバナー・分区代理 挨拶
 ガバナ ー 挨拶
 会長 報
 幹事 報
 会計 報
 クラブ奉仕委員 報告
 会員増強
 会員選考
 職業分類
 出席
 親睦
 ロータリー情報
 会報・雑誌
 プログラム
 広報
 S . A . A 報告
 職業奉仕委員 報告
 社会奉仕
 ローターアクト
 青少年奉仕
 インターアクト
 国際奉仕
 ロータリー財団・米山奨学委員会報告
 講 評
 閉 会 の 辞
 点 鐘

副会長

会長 長
 ガバナー 長
 副会長 長
 副会長 長

吉留 益

岩男秀彦
 三重野良輔
 岩男秀彦
 佐伯壽郎
 上原留満
 吉田泰一
 岩尾正昭
 中尾清治
 水高義則
 松田忠臣
 白山濱英美
 山木皓三
 古森圭介
 森永茂樹
 山下和磨
 水流可也
 水片平樹一郎
 前田良康
 谷川周郎
 染福田正臣
 福村正一雄
 中重野伯良輔
 佐伯壽郎

鹿児島西ロータリークラブ理事・役員・委員会構成

会 長 岩男 秀彦	副会長 吉留 益
幹 事 佐伯 壽郎	副幹事 江夏 洋
理 事 水流 洋	S A A 山下 和磨
片平 可也	副S A A 有馬 戦男
谷口 良康	中川 宏
福田 正臣	会 計 上原 満

委 員 会	委 員 長	副 委 員 長	委 員	
ク ラ ブ 奉 仕	クラブ奉仕	吉留 益	岩元 基	岩田 泰一 中尾 正昭 水濁 清治 高山 義則 松田 忠臣 白濱 英美 山下 皓三 古木 圭介 森永 茂樹
	会員増強	岩田 泰一	須田 正己	木治屋克己 三角桂次郎 玉川 哲生
	会員選考	中尾 正昭	宮脇 真一郎	新川 靖博 徳田 基
	職業分類	水濁 清治	榎田 浩典	平岡 禎吉 村田 和雄 高井 敏治
	出席	高山 義則	菅 富男	浜田 馨 大迫 守弘
	親 睦	松田 忠臣	相 良 正 典	福地 眞 林 伴親 玉利 賢介 原田 準男 桜美 義明 住吉 三滋 竹下 洋 田崎 一郎 山下 健 樋渡 良一
	ロータリー情報	白濱 英美	野添 良隆	坂元 明雄 田中 寛吉 竹下 誠 山元 政明
	会報・雑誌	山下 皓三	黒木 幸一	川上鐵太郎 小園 正人 徳沢 紀生
	プログラム	古木 圭介	海江田 卓	小山 幸義 中野 隆正 永松 実夫
広 報	森永 茂樹	光吉 正昭	福田 敏之 高橋 良明 大平 重隆	
職 業 奉 仕	水流 洋	下 脇 二 則	川平建次郎 山田 晴彬	
社 会 奉 仕	社会奉仕	片平 可也	柿市 高重	崎元 行範 福田雄八郎 仲村 米蔵
	ローターアクト	前田 樹一郎	牛 垣 徹	福田 一郎 小原 昭彦 前田 隆造 海老沢正博
青 年 少 年 奉 仕	青少年奉仕	谷口 良康	三反田 藤男	中村 善治 吉田 正武
	インターアクト	染川 周郎	江口 清隆	王 凱彬 石橋 恵二 尾崎 義明
国 際 奉 仕	福田 正臣	柴山 一清	池口 恵観	岩元 紀彦 永田 征之
ロ ー タ リ ー 財 団	中村 一雄	太原 春雄	川村 洋	川田 恵一 安田 正治
ロ ー タ リ ー 賞 推 薦	吉留 益	片平 可也	福田 正臣	谷口 良康 水流 洋

1993～1994年第2730地区委員

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ・インターアクト委員会 海江田 卓 | ・ローターアクト委員会 山下 皓三 |
| ・クラブ奉仕委員会 柿市 高重 | ・地区資金委員会 大迫 守弘 |
| ・情報委員会 白濱 英美 | |

クラブの皆様方に期すること

ガバナー 三重野 良 輔

クラブでは新年度を迎え、会長様を始め役員、委員長各位が新鮮な抱負と確固たる信念を持ってスタートされましたことは、誠に喜ばしきことであり、大いにその前途に嘱望と期待を懐く次第であります。

私は大変欲深いのですが、次の5項目を皆様をお願いを致し、これが実践にクラブ全員が糾合され、輝かしき成果と歴史を創られることを念ずる次第であります。

第1は、ロータリーの理念・奉仕の哲学をしっかりと内臓していただくことであります。ロータリーは単なる物、金で済ます奉仕団体ではないということであります。ロータリーの奉仕の思想は、誠に奥深いものでありますので暇を作って勉強して下さい。

第2は、会員増強、クラブ拡大、出席率の向上に対する努力を要請致します。会員増強が何故必要なのかに就いては、クラブで大いに討論して下さい。クラブの活性化には必須欠くべからざるものであります。又一方、地域社会の多くの方々にも是非ロータリーをシェアしてあげるべき義務が私共にはございます。クラブ拡大に就きましても全く同様でございます。出席率は当地区は決して良好ではありません。バース会長は「クラブ生活」と呼ぶ心の暖まるクラブ環境を作りたい。暖かい受容性に富んだ環境を養成しなければならない。と強調して居られます。出席率の向上のためには、クラブ会員お一人お一人の友情と熱意が必要です。

第3は、地区組織の活用であります。ロータリーの勉強をする上に於いても、又色々なプログラムを推進する上に於いても、大いにこの地区組織を御利用下さい。地区委員長さんは夫々の分野に於ける権威者であります。

第4は、社会奉仕に関し地域のニーズを見付け行動し、地域住民と密着し、ロータリーの根を地域に深くおろすこととあります。ロータリアン自らが出勤し、行動することとあります。その仲間にはインターアクトもあります。ローターアクトやライラもいます。ボーイスカウトもいます。「信念は行動に！」

第5は、ロータリー財団に対する積極的参加であります。今や財団イコール・ロー

タリーであるという認識を強調致します。財団には数多くのプログラムがあります。面もシェアシステムが導入されて、我が地区でこれが参加に自主的にそのプロジェクトを選択できるのであります。今後益々ウエイトが増加してゆくであろう財団に対して更めて着目方を要請致します。今期財団寄付の目標をベニファクター等の「基金寄付」1万ドルを含め合計33万ドルに設定致しました。概ね会員一人当たり百ドルの御寄付をお願いするということでございます。現下の社会情勢の低調の中で大変申し上げ難いのですが、幸いに円高でありますので何卒よろしく御高配の程お願い申し上げます。

又、米山記念奨学会の方も決して当地区は成績の良き方ではありません。発展途上国或いは未開発国の有望なる青年子女の我が地区における勉学に対しささやかながらも援助を与え、懐かしき思い出と日本人の人情味を土産に故国に送り返したいと思うのであります。米山奨学会の寄付は所得税の免除の措置がございますので為念申し添えます。

「ロータリーに対する確固たる信念を持って下さい。そしてこれを行動に移しましょう。」

—バース会長—

履 歴 書

氏 名 三重野 良 輔
現 住 所 宮崎市橘通東1丁目12番20号
本 籍 地 宮崎県宮崎市橘通東1丁目85番地
生年月日 大正11年10月15日生

★学歴及び兵役

昭和15年4月 慶応義塾大学経済学部
入学
18年12月 熊本野砲兵第6連隊入
隊
21年6月 同上 復員
22年11月 慶応義塾大学経済学部
卒業

㈱トヨタカラー宮崎 取締役

宮崎中央倉庫㈱ 取締役

・関係団体(現)

宮崎商工会議所常議員

宮崎経済同友会常任幹事

宮崎卸商業センター協同組合理事
長

★職 歴

昭和22年11月 商工省貿易庁入省
25年12月 三重野商事株式会社入
社
44年7月 同上 取締役社長就任
現在に至る

★ロータリークラブ経歴

昭和37年3月 宮崎ロータリークラブ
入会

48年7月 同上 クラブ会長

平成2年6月 ボールハリスフェロー

4年10月 米山功労者

・その他 関係会社役員(現)

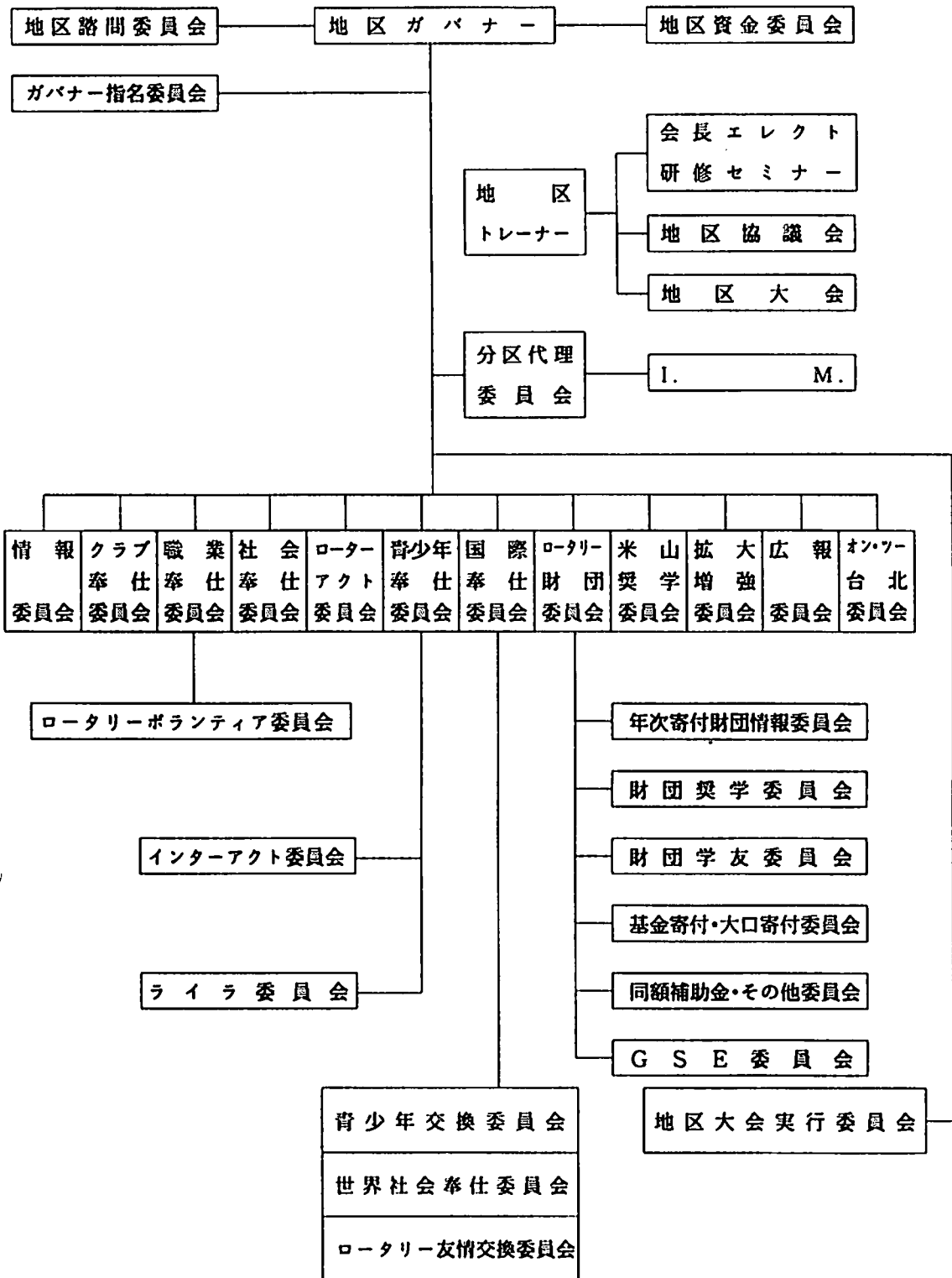
宮崎ガス株式会社 監査役

宮崎信用金庫 理事

★賞 罰

昭和57年11月 黄授褒章受章

1993～1994年度R. I. 第2730地区委員会組織図



1993~1994年度 国際ロータリー第2730地区 地区委員会組織図及び委員名

国際ロータリー	
会 長	ロバート・R・バース
理 事	松 本 卓 臣
事 務 総 長	スベンサー・ ロビンソン・Jr
Information Counceler	岡 村 俊 一 (鹿児島)
Publications committee member	岡 村 俊 一

米山記念奨学生 副 理 事 長	島 津 久 厚 (都 城)
国 内 会 員 増 強 委 員	井 上 和 人 (出 水)
ロータリーの友 地 区 委 員	吉 本 光 朗 (宮 崎)

地 区 ト レ ー ナ ー	岩 下 哲 夫 (宮 崎 北)
------------------	--------------------

地区諮問委員会	
◎島津 久厚 (都 城)	大津 篤造 (鹿児島中央)
吉村 武文 (延 岡)	井上 和人 (出 水)
丸田 美徳 (都 城)	田中 千尋 (鹿 屋 西)
外山 三郎 (宮 崎 北)	岩澤 光男 (加 木)
池田 卓郎 (小 林)	岡村 俊一 (鹿 島)
岩下 哲夫 (宮 崎 北)	今林 重夫 (指 宿)
井上日出男 (延 岡 東)	本坊 蔵吉 (鹿 児 島)

ガバナー指名委員会	
◎本坊 蔵吉 (鹿児島)	岡村 俊一 (鹿児島)
岩下 哲夫 (宮崎北)	今林 重夫 (指 宿)
井上日出男 (延岡東)	

ガバナー・ノミネー	
三角桂次郎 (鹿児島西)	

分 区 代 理		
鹿 児 島 県	北 部	藤田 房二 (串 木 野)
	西 部	坪口 元伊 (指 宿)
	中 央	岩城 巖 (国 分)
	東 部	林 敬二郎 (志 布 志)
	市 内	宇都 巖 (鹿 東 南)
宮 崎 県	奄 美	伊集院聰司 (名 瀬)
	北 部	河原 敏男 (延 岡 東)
	中 南 部	甲斐 定幸 (宮 崎)
	南 部	内村 俊夫 (小 林 中 央)

情報委員会	クラブ奉仕委員会	職業奉仕委員会	社会奉仕委員会	ローターアクト委員会	青少年奉仕委員会
◎井上日出男 (延岡東) 外山 三郎 (宮崎北) 岡村 俊一 (鹿児島) 有村 文宏 (延岡東) 日高 兵馬 (宮崎北) 白濱 英美 (鹿児島西) 宇宿 成 (穎 娃)	◎田中 千尋 (鹿屋西) 柿 市 高重 (鹿児島西) 中野 拓 (宮 崎)	◎岡村 俊一 (鹿児島) 平尾金次郎 (延 岡) 黒木 文雄 (都 城) 小宗 隆之 (鹿児島) 金子 宏 (鹿屋東)	◎池田 卓郎 (小 林) 水淵 清見 (鹿児島) 秦 喜八郎 (宮崎中央)	◎岩澤 光男 (加治木) 志多 昭彦 (宮 崎) 野口 富弘 (都 城) 大重 勝弘 (指 宿) 山下 皓三 (鹿児島西)	◎今林 重夫 (指 宿) 森元 世界 (国 分) 築瀬 貢 (日南中央)

ロータリーヴォランティア 委 員 会
◎吉村 武文 (延 岡)

インターアクト委員会
◎竹下 巖 (鹿児島南) 海江田 卓 (鹿児島西) 江口 清則 (都 城 北) 谷 岑昭 (宮崎中央)

ライラ委員会
◎四本 誠 (鹿児島中央) 廻 光一 (鹿児島東南) 吉本 光朗 (宮 崎) 喜島健一郎 (宮 崎 西)

青少年交換委員会
◎本松 研一 (宮 崎) 中原平一郎 (鹿 屋 西) 山浦良太郎 (都 城)

世界社会奉仕委員会
◎井上日出男 (延 岡 東) 野村 稔 (鹿 児 島) 緒方 節夫 (延岡中央)

ロータリー友情交換 委 員 会
◎岡村 俊一 (鹿 児 島)

ガバナー
三重野 良輔 (宮崎)

地区幹事・副幹事
◎安藤 正俊 (宮崎)
井脇 敏男 (宮崎)
愛甲 隆一 (宮崎)
吉本 光朗 (宮崎)
大坪 久泰 (宮崎)
猪野 眞稔 (宮崎)

地区資金委員会
◎松本 武夫 (宮崎)
桑原 義和 (鹿児島)
大迫 守弘 (鹿児島西)

会長エレクト研修セミナー
1993.5.1.

地区協議会
1993.5.15.(土)～16(日)

公式訪問
1993.7.～11月下旬

地区大会
1993.11.13(土)～14(日)

I. M.

大会計画委員会
◎三重野良輔 (宮崎)
岩下 哲夫 (宮崎北)
今林 重夫 (指宿)
井上日出男 (延岡東)
本坊 藏吉 (鹿児島)
黒水 啓一 (宮崎)

国際奉仕委員会 ◎大津 篤造 (鹿中央) 岡村 俊一 (鹿児島) 井上日出男 (延岡東) 本松 研一 (宮崎)	ロータリー財団委員会 ◎井上 和人 (出水) 丸田 英徳 (都城) 岡村 俊一 (鹿児島)	米山奨学委員会 ◎長友 大 (宮崎北) 大津 篤造 (鹿児島中央) 菅 健志 (鹿児島中央)	拡大増強委員会 ◎岩下 哲夫 (宮崎北) 高山 昭康 (高鍋) 赤塚 恒治 (国分中央) 神 八束 (川内中央)	広報委員会 ◎本坊 藏吉 (鹿児島) 高井 隆司 (鹿児島) 中村 利吉 (都城北) 古本 琢磨 (日向)	オンツォ台北委員会 ◎三重野良輔 (宮崎)
---	--	---	--	---	--------------------------

年次寄付財団情報委員会
◎井上 和人 (出水)
貴島 清文 (鹿児島)
坂口 三郎 (都城)

財団奨学
◎井上 和人 (出水)
海江田順三郎 (鹿児島中央)
竹内 三郎 (宮崎西)

財団学友
◎丸田 英徳 (都城)
中村 清春 (都城)
押領司 根正 (延岡東)

基金寄付・大口寄付
◎井上 和人 (出水)

同額補助金・その他
◎丸田 英徳 (都城)
松田 功 (宮崎南)
西 清文 (加治木)

GSE委員会
◎岡村 俊一 (鹿児島)
岩下 哲夫 (宮崎北)
内田 薫 (加治木)
大坪 久泰 (宮崎)
松木 實 (鹿児島)

地区大会実行委員会
◎黒水 啓一 (宮崎)
中野 拓 (宮崎)
伊藤 雄吉 (宮崎)
志多 昭彦 (宮崎)
井脇 敏男 (宮崎)
河野日出男 (宮崎)

会 長 報 告

会 長 岩 男 秀 彦

本日こゝに 2730 地区三重野ガバナーをお迎えし、クラブ協議会が開催できますことは会員のたいなる喜びであります。

新しい年度に入り2ヶ月経過致しました。本年度のテーマである Believe in what you do - Do what you believe in を基本にガバナーの提唱されている「会員一人ひとりがロータリーの哲学をもって地域に根づいた行動をしよう」を実践してまいりました。

ロータリーの抱える問題として大きくは世界社会奉仕、天体地球保全、ポリオプラスなどとどのように取り組んでいくのか、又、それぞれのクラブには会員増強や出席率向上などをどのように進めていくのか、更にはロータリー財団への積極的参加などがあります。どのような問題に取り組むにしても、ガバナーの「楽しい例会そして出席」が原点であり、そこからすべてが始まると思います。われわれ会員一人ひとりにはアイデアと時間と情熱を捧げるに値するロータリーをめざして努力致しておるところであります。とくにクラブ奉仕委員会を中心とした委員会活動に期待し、委員長のリーダーシップが発揮しやすいよう会長として努めてまいる所存であります。

本日の協議会で三重野ガバナー、宇都分区代理のご指導ご助言を賜りますようお願い申し上げます。

幹 事 報 告

幹 事 佐 伯 壽 郎

幹事をお引受けし、はや2ヶ月余が過ぎました。

ロータリーの年数だけはいたずらに過ぎておりますが、浅学非才、不勉強でこの重責の全う出来るか就任した当初は不安ばかりでありましたが、時間の経過と共に少しずつ慣れてまいりましたし、又、会長のご指導、会員の皆様のご協力により、今日まで何とかその責を果たせたような気がします。

ガバナーの公式訪問が、私共西ロータリークラブ会員の個々人にとってロータリアンとしてのあり方、委員会活動の見直しをする好機会としたいと思えます。

又、本年度のR. I 会長のテーマ、及びガバナーの方針に沿った会長の指導力が現実のものになる様協力し、当クラブの伝統ある「月いち学習会」の充実、姉妹クラブとの共同による国際社会奉仕の継続、ロータリー賞の授与、インターアクトクラブとのフォーラムの開催、ロータリー財団への参加、出席率の維持向上、会員増強等活力あふれる西クラブに発展する様に、心掛けてゆきたいと思えます。

ク ラ ブ 概 況 報 告

(平成5年8月31日現在)

1. 創 立 年 月 日 昭和38年3月23日
2. 承 認 年 月 日 昭和38年6月27日(九州において第28番目)
3. チャーターナイト 昭和38年11月20日
4. 当時のR・I会長 ニッチシ・P・ラハリー(インド)
5. 当時のガバナー 進 藤 誠 一(第370地区)
6. スポンサークラブ 鹿児島ロータリークラブ
7. チャーターメンバー 24名(その内現在会員2名)
8. アディショナルクラブ名と創立年月日
 1. 加 治 木 R C 1967年(S42年)6月24日
 2. 加 世 田 R C 1972年(S47年)10月18日
 3. 枕 崎 R C 1972年(S47年)12月4日
 4. 鹿児島城西 R C 1986年(S61年)9月16日
9. 地区外ロータリークラブとの姉妹兄弟関係
 1. 第2530地区 日本 鶴岡 R C
=1965年(S40年)5月9日締結
会員相互親善訪問、週報等の交換
 2. 第5130地区 米国カリフォルニア州 サンタローザ・サンライズ R C
=1989年(平成元年)4月29日締結
青少年交換事業
10. 提唱インターアクトクラブ
 1. 鶴丸 高 校 I A C
発会日 1964年(S39年)10月8日
 2. 鹿児島高校 I A C
発会日 1971年(S46年)6月17日
11. 提唱ローターアクトクラブ 名称：鹿児島西ローターアクトクラブ
1976年(S51年)6月24日発会
12. 区 域 鹿児島市中央部を貫通する甲突川上流の玉江橋から下流へ—西田橋—高麗橋に至り西へ高麗町本通り—大学通り—中郡電停—更に電車路線に沿い鴨池公園南角に至り西へ谷山街道を経て宇宿町へ至る鹿児島市西方区域。(但し、旧谷山市に属する区域を除く)

13.	事 務 所	鹿 児 島 市 金 生 町 3 番 1 号 山 形 屋 内 (0992 - 23 - 5902)
14.	例 会 日	毎 週 水 曜 日 1 2 時 3 0 分 ~ 1 3 時 3 0 分
15.	例 会 場	山 形 屋 1 号 館 7 階 社 交 室
16.	歴 代 会 長	1 6 ページ
17.	歴 代 幹 事	1 7 ページ
18.	現 在 会 員	正 会 員 5 4 名 ア デ ィ シ ョ ナ ル 正 会 員 0 名 シ ニ ア ・ ア ク チ ブ 会 員 4 1 名 計 9 5 名 入 退 会 者 数 入 会 者 3 名 退 会 者 3 名
19.	平 均 年 齢	5 8.3 7 才 最 高 8 9 才 最 低 3 9 才 8 0 代 5 名 7 0 代 1 3 名 6 0 代 2 3 名 5 0 代 3 2 名 4 0 代 2 0 名 3 0 代 2 名
20.	出 席 率	8 7.8 8 % (7 ・ 8 月 分)
21.	入 会 金	3 5,0 0 0 円
22.	年 会 金	1 7 0,0 0 0 円
23.	ビ ジ タ ー 会 費	1, 9 0 0 円
24.	会 報	毎 週 週 報 を 発 行
25.	ロ ー タ リ ア ン 誌	2 名
26.	ク ラ ブ 協 議 会	7 回 (あ と 5 回 以 上)
27.	ク ラ ブ フ ォ ー ラ ム	8 回 (あ と 7 回 以 上)
28.	イ ン フ ォ ー マ ル ミ ー テ ィ ン グ	2 回 (あ と 1 回 以 上)
29.	理 事 会	定 例 …… 毎 月 第 2 例 会 日 臨 時 …… 必 要 に 応 じ 随 時
30.	委 員 長 会 議	4 回 (あ と 3 回 以 上)
31.	会 長 幹 事 会	市 内 …… 6 回 (5 回)

1993年7～8月例会活動実績

7 月	7	「クラブ協議会」(活動方針及び計画)	
	14	「総会」 (決算報告, 予算審議)	
	21	「インフォーマルミーティング」	
	28	「参 睦 会」 於：サンロイヤルホテル	
8 月	4	「大平工務店, 高等職業訓練校での若年技能者育成について」	大 平 重 隆 君
		「弁護士業務における奉仕活動について」	染 川 周 郎 君
	18	「日・ポ交流450年を思う」	西郷南洲頭彰館々長 山 田 尚 二 殿

< 諸 会 議 >

日 時	会 議 名	場 所	内 容
7/12(月) 14(水)	第179回学習会 定例理事会	ワシントンホテル	R・Iのテーマについて 1) 石神兼康君退会の件 2) 桜美義明君休会の件 3) 名誉会員選任の件 4) サンタローザ交換学生招待の件
17(土)	社会奉仕委員会	サンロイヤル ホ テ ル	1) 各クラブに於ける奉仕活動の実施 計画についての情報交換会 (片平可也委員長出席)
19(月)	国際奉仕委員会	サンロイヤル ホ テ ル	GSE(研究グループ交換)受入れに ついての協議会 (永田征之君出席)
28(水)	臨時理事会		8月、24、25日山形屋休みにつき 25日の例会は「クラブ定款により休 会とする」 北海道南西沖地震に対する義援金 1人1,000円送金
29(木)	第1回市内にて 会長、幹事会	サンロイヤル ホ テ ル	1) ガバナー公式訪問について 2) 市内RC名簿作成について 3) 新春合同例会について 4) 今後の会議日程及び会費について 5) 清流と水辺のコンサート協賛につ いて 6) その他
8/18(水)	臨時理事会		1) 南九州豪雨「水害見舞金」 1人1,000円送金 2) 岡山唯一)退会受理 石神兼康 3) アジアゾーン理事指名 候補者なし
28(土)	ク ラ ブ 奉 仕 委 員 会	山 形 屋	鹿児島県下クラブ奉仕委員会 1) クラブ奉仕の基本及び出席、親睦 活動、プログラム、職業分類につ いての理解を深めるための研修 2) 各ロータリークラブ奉仕に関する 問題点、疑問点及びアイデアを出 し合って意見を交換する。

西ロータリークラブの推移

昭和	西 暦	ガバナー	会 長
38~39	1963~64	嘉村平八	初代 桜美四郎
39~40	1964~65	町田秀実	2代 土橋英夫
40~41	1965~66	島津久厚	3代 塘 一 郎
41~42	1966~67	吉村常助	4代 米倉秀夫
42~43	1967~68	向笠広次	5代 島津忠丸
43~44	1968~69	大津鳩造	6代 鮫島志芽太
44~45	1969~70	日高安壮	7代 佐伯延次郎
45~46	1970~71	八田 秋	8代 久保田彦保
46~47	1971~72	小田 一昭	9代 岩元正二
47~48	1972~73	東 博仁	10代 牧田健二
48~49	1973~74	杉野頼三	11代 川村 洋
49~50	1974~75	竹野 融	12代 新福栄熊
50~51	1975~76	後藤基彰	13代 福田敏之
51~52	1976~77	塘 一 郎	14代 岡村健一郎
52~53	1977~78	西田武雄	15代 河井時義
53~54	1978~79	吉村武文	16代 藤安辰造
54~55	1979~80	井上和人	17代 川上鐵太郎
55~56	1980~81	福島親比古	18代 浜田 馨
56~57	1981~82	大久保一 郎	19代 中村俊雄
57~58	1982~83	杉村 進	20代 久保政次
58~59	1983~84	丸田美德	21代 高井敏治
59~60	1984~85	田中千尋	22代 池田 廣
60~61	1985~86	外山三郎	23代 福田正臣
61~62	1986~87	岩澤光男	24代 中村善治
62~63	1987~88	池田卓郎	25代 小園正人
63~64	1988~89	岡村俊一	26代 外西寿彦
H1~H2	1989~90	岩下哲夫	27代 三角桂次郎
H2~H3	1990~91	今林重夫	28代 川田 恵一
H3~H4	1991~92	井上日出男	29代 木治屋克己
H4~H5	1992~93	本坊蔵吉	30代 岩元紀彦
H5~H6	1993~94	三重野良輔	31代 岩男秀彦

○ チャーターメンバー

安 楽 慶一郎	福 井	浩	船 木	潔	堀	俊 一
犬 伏 康 夫	岩 元	吉 義	岩 元	二 市	河 井	時 義
川 村 健 二	小 山	義 人	倉 園	清 友	黒 山	長 太郎
牧 田 健 隆	松 元	人 郎	大 小	一 柴	大 島	実 丸
西 郷 誠 助	桜 美	一 郎	柴 山	英 一	米 倉	忠 秀
田 原	塘 一	一 郎	土 橋	英 夫	米 倉	計 24名

(歴代会長並びに幹事)

幹 事	会員数	平均年齢	平均出席率	その他区順位
川 村 洋	35名	50.0才	99.18%	9
高 徳 三 蔵	44	49.0	99.11	9
河 井 時 義	48	51.40	99.09	8
藤 安 辰 造	46	52.70	98.81	
安 楽 慶 一 郎	55	53.30	99.79	9
柴 山 一 雄	58	53.00	99.92	4
高 井 敏 治	61	52.80	99.92	6
久 保 政 次	65	52.60	98.83	9
田 平 禮 章	73	53.19	99.01	5
浜 田 馨	79	52.09	98.14	10
外 西 寿 彦	75	54.30	98.73	9
小 山 幸 義	79	53.80	97.91	9
池 田 廣	85	54.60	97.63	10
中 村 善 治	86	55.70	95.49	
小 園 正 人	90	57.10	96.52	
三 角 桂 次 郎	87	56.45	96.59	
川 田 恵 一	88	57.25	96.92	
光 吉 正 昭	87	57.47	97.07	
徳 澤 紀 生	86	57.58	96.22	
水 洩 清 治	89	57.02	93.96	
木 治 屋 克 己	85	57.18	93.75	
柿 市 高 重	81	58.27	92.05	
山 下 皓 三	86	58.23	93.31	
中 尾 洋	85	57.63	95.36	
桜 美 義 明	89	58.10	94.74	
岩 元 基	91	58.05	94.06	
古 木 圭 介	90	57.97	93.21	
内 山 光 男	94	57.72	91.68	
上 原 満	96	57.49	90.33	
玉 川 哲 生	99	57.91	91.94	
佐 伯 壽 郎	95	58.37	87.88(7.8)	

○ マルチプル・フェロー 1回故(柴山 一雄) 池口 恵観 以上2名

○ メモリアルコントリビューター 菅 富男君(申請中)

○ ポールハリス・フェロー

故(塘 一郎) 池田 廣 柿市 高重 故(柴山 一雄) (藤安 辰造) 池口 恵観
 故(牧田 健二) (河井 時義) 川村 洋 故(土橋 滋) 福田 敏之 川上鐵太郎
 川田 恵一 徳澤 紀生 故(海老原利則) 有馬 志享 小園 正人 岩元 紀彦
 村田 和雄 高井 敏治 木治屋克己 上原 満 片平 可也 岩元 基
 竹下 洋 林 其為 故(外西 寿彦) 高山 義則 岩男 秀彦 玉川 哲生
 安田 正治 中村 一雄 坂元 明雄 三角桂次郎 以上34名

○ ポールハリス準フェロー

故(桜美 四郎)故(岩元 健吉) (岩元 正二)故(岡山 栄) (池田 敏)故(永井 利承)
 浜田 馨 中村 善治 古木 圭介 光吉 正昭 桜美 義明 故(内山 光男)
 太原 春雄 山下 皓三 前田樹一郎 三反田藤男 竹下 威 榎田 浩典
 須田 正己 江夏 洋 柴山 一清 久野 洋一 崎元 行範 以上23名

会 計 報 告

会 計 上 原 満

基本方針及び計画

1. 全資産、記帳、資金の受払に対し、年1回あるいは理事会の要請があれば、その度説明を行う。
2. 本クラブの会計事務は、年1回公認会計士の監査を受ける。

ク ラ ブ 奉 仕 委 員 会

委員長 吉 留 益
委員 (副)岩元 基・岩田 泰一・中尾 正昭・水渕 清治
高山 義則・松田 忠臣・白濱 英美・山下 皓三
古木 圭介・森永 茂樹

基 本 方 針

ロータリーは先ず出席する事で初まり、奉仕の心を学びとり、例会を楽しくした集いになるように配慮する。

本 年 度 の 計 画

1. 例会を充実することに努める。
2. 四半期に1回合同委員会を開き、例会運営等の意見を聞く。

会 員 増 強 委 員 会

委員長 岩 田 泰 一
委員 (副)須田 正己・木治屋克己・三角桂次郎・玉川 哲生

基 本 方 針

1. クラブの円滑な運営が出来るよう年令的にバランスのとれた会員構成をめざす。
2. クラブの活性化・向上発展に寄与出来るような人を推せんする。
3. 会員増強に積極的なご協力を望みたい。

本 年 度 の 計 画

1. 転勤退会を見込んで10%の会員増強を目指す。
2. 未充填の職業分類にそれぞれふさわしい会員候補者を推せんしたい。

会 員 選 考 委 員 会

委員長 中尾 正 昭
委員 (副)宮脇真一郎・新川 靖博・徳田 基

基 本 方 針

会員の選考について下記の点に留意する。

1. 社会人として常識的な感覚を有し且つロータリアンとして義務活動を支障なく果せる事

本 年 度 の 計 画

職業分類，会員増強と連絡を密にしてすぐれた会員の増強につとめたい。

職 業 分 類 委 員 会

委員長 水 潤 清 治
委員 (副)榎田 浩典・平岡 禎吉・村田 和雄・高井 敏治

基 本 方 針

地域社会の職業分類を調査し，充填並びに未充填職業分類表を作成し，会員の職業分類上の適合性を検討します。

本 年 度 の 計 画

1. 充填並びに未充填職業分類表を作成する。
2. クラブ奉仕，会員増強，会員選考，各委員会と協力し，特に未充填職業の会員獲得に努力します。

出席委員会

委員長 高山 義 則
委員 (副)菅 富男・浜田 馨・大迫 守弘・

基本方針

ホームクラブの100%出席を目標とする。やむをえず例会出席の場合は早目にメイクアップする。そしてクラブの出席率の100%を目指す。メイクアップになるローターアクトへの積極的な出席をお願いしたい。

本年度の計画

1. 連続出席者の表彰。
2. 出席率を高めるスローガンなどを会場に掲示する。
3. 出席報告の後、次回例会出席をお願いする。
4. メイクアップによって他クラブを学び、メイクアップを楽しい意義あるものとする。

親睦委員会

委員長 松田 忠 臣
委員 (副)相良 正典・福地 眞・林 伴親・前田 隆造
原田 隼男・桜美 義明・住吉 三滋・竹下 洋
田崎 一郎・山下 健・玉利 賢介・樋渡 良一

基本方針

魅力あるクラブづくり、また楽しい例会出席を常に念頭におき、その素地としての会員相互の親睦をより深めるよう努力する。

本年度の計画

1. 委員を3班に分け、例会の受付、ニコニコBOXの紹介等を担当する。
2. 観月会の実施 9月
3. クリスマス家族会の実施 12月
4. 参睦会の実施 年2回
5. 有志によるゴルフコンペの実施 年4回

この他、趣味の同好会づくりも考慮したい。

2, 3, 4, 項は昼の例会と、夜の親睦会を合併して実施

ロータリー情報委員会

委員長 白濱 英美

委員 (勲)野添 良隆・坂元 明雄・田中 寛吉・竹下 威
山元 政明

基本方針

- ロータリー・クラブとは何か — 会員候補者にシステムや理念、責務についての情報提供を行う。
- 新入会員には、ロータリーの本質を理解、認識してもらうために、あらゆる機会を捉えて助言する。
- ロータリー会員の判断や活動に役立つ適切な情報を収集し、発信していく。

本年度の計画

1. 収集した情報は、理事会に報告、関係委員会に伝達する。
2. 新入会員（3年未満）にはロータリーの綱領、歴史、活動目的などについての基礎的な情報を提供する。
3. 伝統ある「月いち学習会」には、新入会員の積極参加を呼びかけ、経験豊かな先輩会員と和やかな雰囲気の中で学習・懇親を深める。
4. 歌声高らかに、握手の輪を広げよう。

会報・雑誌委員会

委員長 山下 皓三

委員 (勲)黒木 幸一・川上鐵太郎・小園 正人・徳澤 紀生

基本方針

1. 会報を毎週発行してロータリーに関する情報を伝えると共に、親睦に役立つ。また、クラブの歴史を記録するものとして関係委員会と連絡して編集する。
2. ロータリーの機関誌の記事を紹介し、読むことを奨励する。
以上の二項目について努力する。

本年度の計画

1. 週報のレイアウトについては、現在のものが完成に近いと思われるので、そのまま踏襲する。
2. 週報の内容については、理事会、委員会、例会、各種会合、学習会等の記録を適切に掲載するようにつとめる。
3. 情報委員会に協力し、ロータリーの動向、新しい情報の掲載につとめる。
4. 会報に会員の自由投稿や新入会員の紹介、自己PRなどを掲載し、会員相互の親睦を深めるための一助とする。

5. 従来通り会報を関係先に送付する。
6. ロータリーの友、ザ・ロータリアン誌等の記事の中で重要なものを例会や週報で紹介すると共に読むようにすすめる。
7. 雑誌月間に留意する。

プログラム委員会

委員長 古木 圭介

委員 (副)海江田 卓・小山 幸義・中野 隆正・永松 実夫

基本方針

新会長の方針にそって例会が明るく楽しいものになるよう配慮したプログラム編成をしていきます。

会員卓話と外部講師のバランスをとりテーマのある内容にしていきたいと思えます。

本年度の計画

1. 前期、後期で各々テーマを定め、それに沿った内容の卓話を計画する。
2. 会員卓話も昨年度同様に多くしていきたい。
3. 女性の卓話者も招ねきたい。

広報委員会

委員長 森 永 茂 樹

委員 (副)光吉 正昭・福田 敏之・高橋 良明・大平 重隆

基本方針

ロータリーの精神ならびにその活動状況を広く地域の人々に伝え、ロータリーを正しく理解してもらうための広報につとめる。

本年度の計画

1. 地域の人々にロータリーの活動状況を広報する。
2. 報道機関の人々にロータリーの精神や活動状況を知ってもらう。
3. 理事会及び各委員会の動向をつかみ会員にPRする。

S A A 委 員 会

委員長 山下 和磨
委員 (副)有馬 戦男・中川 宏

基 本 方 針

秩序を守り親睦を深める雰囲気づくりに努める。

本 年 度 の 計 画

今期はビジターでご出席いただいた方々や、ゲスト卓話をお願いした方に失礼にならないようにまず私語をつつしみ途中退席のないよう気をつけ品位ある例会場づくりに留意したい。これは勿論のことですが例会時のバッヂの着用をお願いしたい。

職 業 奉 仕 委 員 会

委員長 水流 洋
委員 (副)下脇 二則・川平建次郎・山田 晴彬

基 本 方 針

職業奉仕は、ロータリークラブと会員の双方の責務であるというR I 職業奉仕委員会の方針に従って、より高い倫理観、視野の広い道德観を持ち、職業奉仕の理想を実行普及するよう奨励する。

本 年 度 の 計 画

1. 職業奉仕の認識を深めることを目標に基本精神である「職業宣言」を例会場に掲示する。
2. クラブ会員それぞれの職業奉仕の実態を認識・理解する機会を設けたい。
3. 職業奉仕月間の10月は職場訪問を沖縄航路の客船「クィーン・コーラル」の見学を予定し、日時とのかねあい調整がつかない場合は会員の職場訪問を計画している。
4. クラブ会員の推薦を受けて、隠れたる優良従業員の表彰を行なう。
5. 職業奉仕の新しい分野としてのボランティア活動を進めて行く。

社 会 奉 仕 委 員 会

委員長 片 平 可 也

委員 (副)柿市 高重・崎元 行範・福田雄八郎・仲村 米蔵

基 本 方 針

1. 地域社会のニーズを多角的に調査検討し、その中で必要度の高いもの、地域住民の協力を得られるようなものを取り上げる。
2. 社会奉仕委員のみでなく、クラブ会員多数の協力と理解を得て実行出来るようにする。

本 年 度 の 計 画

1. 継続プログラムは従来通り継続実行する。
 - ① ロータリー賞
 - ② 西クラブ青少年文庫の献本
 - ③ 友愛文庫
 - ④ 西駅前清掃（RAC協同作行）
 - ⑤ 福祉施設訪問
2. 新しいプログラムの試み
 - ① 鹿児島市事務局（福祉関係）を訪問、ロータリーが協力出来るようなものを探る。
 - ② 学習会、クラブ協議会において「どのような事柄が出来るかを」アイデアを出してもらって、我々の出来る範囲のものを取り上げる。

ロ ー タ ア ク ト 委 員 会

委員長 前 田 樹一郎

委員 (副)牛垣 徹・福田 一郎・小原 昭彦・前田 隆造
海老沢正博

基 本 方 針

今期は“芋の子運動”の考え方に立って、会員の増強を図り、できるだけ多くの会員の中で、互いに切磋琢磨して、個人の資質を高めながら、地域社会に密着した奉仕を推進したい。

本 年 度 の 計 画

1. ロータアクトの会員数を20名以上に増強するための具体的な対策を検討する。
2. 社会奉仕、朝の清掃（月1回、西駅前）、愛の聖母園の訪問などを計画し、実行する。
3. できるだけ多くのロータリアンに例会に出席していただき、実際に若い人の声を聞いてご助言いただく。
4. 西ロータアクトがホストとなる、9月開催の鹿児島県下ロータアクトの体育大会が成功するよう努力する。

青少年奉仕委員会

委員長 谷口良康

委員 (副)三反田藤男・中村善治・吉田正武・光吉正昭

基本方針

1. 青少年の生活態度の基礎としての奉仕の理想を鼓吹しこれを育成する。
2. インターアクト委員会と連絡を密にして、青少年の活動に関心を持ち、活動への参加と援助を惜しまない。
3. ロータリアンは青少年の模範となるべく努力し、共に考え、共に行動する機会を作る。

本年度の計画

1. インターアクトの会合に積極的に参加する。
2. インターアクトの活動への助成と援助をはかる。
3. インターアクトの会員増強に協力する。
4. 交換留学生の制度の維持と発展に寄与する。

インターアクト委員会

委員長 染川周郎

委員 (副)江口清隆・王凱彬・石橋恵二・尾崎義明

基本方針

インターアクトの会員及び指導の先生との融合の場をできるだけ多く持ち、従来の活動の維持、強化ならびに相互理解を推進する。

本年度の計画

1. インターアクトの年次大会に出席し、協力、援助を行う。
2. サンタローザ友好協会主催の留学生歓迎行事に参加、協力する。
3. 鶴丸、鹿児島両高校のインターアクトクラブのメンバーとロータリー会員との「将来の職業選択」についてのフォーラム及び現代社会の問題をテーマとする懇談会を開催、充実させる。

国 際 奉 仕 委 員 会

委員長 福田 正 臣

委員 (副)柴山 一清・池口 恵観・岩元 紀彦・永田 征之

基 本 方 針

諸外国の人々との間に、お互いに理解を深め、親善を増進し、ひいては国際平和に寄与するよう奉仕活動を推進する。

本 年 度 の 計 画

1. 2年前からおこなわれています、米国カリフォルニア州サンタローザのサンライズロータリークラブと当クラブの二者共同による南米チリのコハエクRC. に対する援助を今年度も続いておこなう。すなわち同RC. の社会奉仕活動に対する資金援助として一年に各クラブ1,000\$づつ(両クラブで合計2,000\$) 抛出して居るがこれを続ける。
2. 鹿児島サンタローザ友好協会の主催による、サンタローザと鹿児島島の学生、交換プログラムに関して、国際奉仕の立場から今年度も出来るだけの協力をしたい。
3. 今年度も例年と同様、クリスマス家族会に、在鹿外国人留学生を招待したい。尚それだけにとどまらず、これらの学生達と当クラブ会員との平素の交流(例えば座談会をするなどで)を持ちたい。

ロ ー タ リ ー 財 団 ・ 米 山 奨 学 委 員 会

委員長 中 村 一 雄

委員 (副)太原 春雄・川村 洋・川田 恵一・安田 正治

基 本 方 針

ロータリー財団と米山奨学会の目的と活動状況を会員によく理解してもらうとともに、財団プログラムに対するクラブレベルの支援に努める。

本 年 度 の 計 画

1. ロータリー財団に関する広報活動を行なう。
2. ロータリー財団奨学生の推薦を行なう。
3. ロータリー財団資金に寄与するため、次のことに努める。
 - イ. ポールハリスフェローの募集
 - ロ. 準フェローの増員
 - ハ. 年10回程度百万ドル食事の実施
 - ニ. グリーンボックスによる募金